平成 29 年 9 月 1 日

各　　位

国立大学法人福島大学
学長　中井勝己
（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび福島大学では、農学群食農学類（仮称）の設置に向けて、下記のとおり正規教員の公募を行うことになりました。つきましては、関係各位に周知いただき、適任者を自薦・他薦くださるよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

１．公募概要

福島大学では、地域の食料・農業・農村問題へ主体的、創造的に取り組む人材の育成を目的に、新たに「農学群食農学類（仮称）」の設置を準備しています。構想では、平成 31 年度に学生受け入れを予定しています。

ついては、以下の専門分野の人材を公募いたします。福島大学では人材の育成を重視しており、特に学生の教育・研究指導に熱意のある方を希望します。

また、新設の食農学類（仮称）では、４つの履修コースで構成された「専門教育プログラム」のほかに、福島県内を問題解決型教育のフィールドとして、市町村自治体や農業関係機関等と連携しながら地域課題の解明をめざす「農学実践型教育プログラム」（５～10 のプロジェクト実習）を構想しています。そのため、各自の専門分野の教育・研究に留まらず、他分野との連携・協力によるプロジェクト研究や学際的な教育・研究、地域社会貢献等にも積極的に取り組んでもらえる人材を募集します。

なお、食農学類（仮称）の詳細については、福島大学ホームページ（http://www.fukushima-u.ac.jp）でご確認いただくか、直接お問い合せください。

２．公募職名：教授、准教授または講師

３．専門分野・公募人員（任期なし）

植物病理学（再公募）、１名

公募の各専門分野は、「別紙」の「専任教員の専門領域・主担当科目等一覧」で確認してください。

４．主な担当授業科目

公募する教員の担当科目は、「別紙」の「専門領域・主担当科目等一覧」に示している「灰色部分を除く」科目です。

希望する専門分野・主担当科目（複数の分野及び科目でも可）を、封筒の表（ｵﾓﾃ）及び 8.提出書類の「(8)採用後の教育計画」に明記してください。

なお、そのほかに「農学実践型教育プログラム」等の専門科目及び全学共通教育の「基盤教育科目」の担当があります。さらに、大学院が設置された場合には、大学院関連科目の授業を担当することになります。

５．応募資格
(1)博士の学位を有する方、またはそれと同等の研究歴を有する方。
(2)当該専門分野において優れた業績や識見があり、他分野の研究者・専門家や産業界・行政等と積極的に連携して教育・研究活動ができる方。
(3)当該専門分野に関連した研究業績（学術著書・論文等）を有する方で、当該分野の講義及び演習・実習科目を担当できる方。
(4)福島市あるいは近郊に居住できる方。
(5)国籍は問わないが日本語による教育が可能な方。

６．採用予定日：平成 30 年 10 月 1 日から平成 32 年 4 月 1 日の間
（採用時期に希望があれば、8.(7)「採用後の研究計画」で明記してください）

７．応募締切日：平成 29 年 10 月 15 日（日）必着

８．提出書類　＊各 1 部
(1)履歴書（写真を貼付すること）（形式は自由）
年齢等、学歴（大卒以降）・職歴、資格、賞罰、所属学会、連絡先（電話、メール）等を明記のこと。また、社会活動の履歴として、最近の学会活動（役職等）、自治体等の各種委員等も明記してください。
(2)学位記の写し又は証明書
(3)研究業績目録（形式は自由）
☆学位論文名､学術論文(査読誌の表記)、学術著書、特許、過去５年間の学会発表等（主要な著書・論文５編に○印を明記）
☆外部資金の獲得状況（科研費、受託研究、寄附金等の名称・金額）など。
(4)主要な著書・論文(目録で明示したもの、コピー可｡著書は後日返却)各 1 部
(5)研究業績の要約（形式自由で 2,000 字程度）
(6)教育業績等の要約（形式自由で 2,000 字程度）
大学教育職の方は、今年度担当（予定）の講義等(科目名、コマ数)、過去５年間の卒業論文、修士論文、博士論文の指導学生数（主指導に限定）を記してください。また、非常勤講師の経験者についても担当講義名等を記載してください。
(7)採用後の研究計画（形式自由で 2,000 字程度）
(8)採用後の教育計画（形式自由で 2,000 字程度）
学生教育や専門教育に対する方針、心構え、理想像等を記してください。
(9)応募者の人物について問い合わせ可能な方の 2 名の氏名と連絡先
（書類提出先）
〒960-1296　福島市金谷川 1 番地
福島大学　農学系教育研究組織設置準備事務室　宛
（郵送の場合は書留とし、封筒の表に「食農学類（仮称）教員応募書類在中」「応募する専門分野名・主担当科目名(複数可)」を朱書してください。なお、応募書類は返却しません。）

９．選考方法
提出書類の審査と必要に応じた面接によって選考します。面接に要する旅費等は応募者の負担とします。なお、応募者の教育・研究歴の内容によっては、本人の了解のもとに他の専門分野の応募に振り替える場合もあります。

10．留意点
平成 30 年度の大学設置・学校法人審議会に設置審査を申請する予定ですが、同審議会に諮れない時は採用されないことがあります。また、同審議会に諮った結果不適合と判定された方は採用されません。なお、詳細な情報については福島大学ホームページ、または下記の問い合わせ先に(書面ないしＥメールで)ご連絡ください。
（問い合わせ先）
農学系教育研究組織設置準備室・副室長　青柳　斉
電話(024)503－4060、Fax(024)504－2832
E-mail：r814@ipc.fukushima-u.ac.jp

［別紙］専任教員の専門領域・主担科目等一覧

＊公募する教員（教授または准教授）の主担当科目は灰色部分を除く科目である。
**複数の主担当科目に応募しても構わない。

専門領域	主担当科目		その他科目
	科目名	概要（例示）	
食品科学（10名）	食品機能学Ⅰ	機能性食品の制度、疾病予防と機能性成分、機能性素材と成分など総論	食品科学基礎実験
	食品機能学Ⅱ	抗酸化機能、代謝改善機能、酵素活性化機能など各論	食品科学基礎実験
	食品分析学	食品の一般成分分析、各種機器分析法、タンパク質・炭水化物等の分析	食品科学基礎実験
	食品素材科学	食品素材の理化学特性や利用適性、加工利用技術など	生物化学、食品科学基礎実験
	食品加工学Ⅰ	食品加工と食生活、食品加工の操作、食品加工の新技術等の総論	食品製造実習
	食品加工学Ⅱ	表示と規格、農産加工、畜産加工、水産加工、インスタント食品等の各論	食品製造実習
	食品保蔵学	食品の劣化・変質因子、鮮度評価、殺菌技術、保存原理など	食品製造実習
	発酵・醸造学Ⅰ	微生物の種類と酵素、酒類総説、清酒、みりん、焼酎、ビール、ワイン等	食の文化と科学、食品製造実習
	発酵・醸造学Ⅱ	味噌・醤油・食酢等の発酵調味料、納豆・漬物・乳製品・パン等の発酵食品	基礎微生物学、食品製造実習
	食品安全学	食品リスク要因とその制御、リスクアセスメント、安全管理システム等	食品衛生管理学、食品科学基礎実験
作物・栽培学（10名）	作物育種学	作物の成立と育種、生殖様式と遺伝子の行動、基本的育種法など	作物・栽培学応用実験、農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ
	稲作学	イネの来歴、形態、生理、生態、栽培技術、利用特性など	作物・栽培学基礎実験、農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ
	環境保全型農業論	環境保全型農業の由来、有機農業の特徴と条件、耕畜連携の課題	栽培学概論、作物・栽培学基礎実験
	蔬菜・花き園芸学	蔬菜・花きの種類、形態・構造、生理、育種、繁殖・栽培、品質保持等	作物・栽培学基礎実験、農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ
	果樹園芸学	果樹の品種・生理・栽培技術、果実の栄養特性及び生理・生産技術	作物・栽培学実習、農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ
	応用昆虫学	昆虫の形態・分類、生活史、生理・生態、害虫管理、昆虫の利用	病害虫管理学、作物・栽培学実習
	植物病理学	植物病原ウイルスの構造・伝染、各種病原菌の構造、診断・予防法	病害虫管理学、作物・栽培学応用実験
	土壌科学	土壌の生成と分類、化学性・物理性、作物の生育と土壌、環境問題と土壌	農地再生論、作物・栽培学実習
	植物栄養学	植物の必須元素、養分吸収の仕組み、窒素固定、窒素代謝など	作物・栽培学応用実験、農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ
	飼料資源学	飼料の種類・化学的組成、粗飼料の利用・貯蔵・加工、飼料設計等	畜産学概論、農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ

生産環境学（10名）	森林育成学	樹木の構造･生活史､森林生態系の維持機構､森林の育成･利用､管理など	樹木生理・生態学、生産環境学実習
	森林科学	森林の役割・生態・育成、山地の保全、木材の生産、人間社会と森林	土壌生態学､生産環境学実習
	森林保護学	森林被害の発生ﾒｶﾆｽﾞﾑ､火災･風水害等の対策､虫害･鳥獣害と防除	野生動物管理学､生産環境学実習
	森林利用学	森林の収穫､林業機械･土木､森林作業ｼｽﾃﾑ､森林資源のﾊﾞｲｵﾏｽ利用など	生産環境学実習、測量・GIS 実習
	里山管理論	里山の景観と多面的機能、里山再生の課題と方法、里山の除染問題	震災農村復興論､農地再生論､生産環境学演習
	農村計画学	農村整備の背景､自然環境・景観計画､生活環境計画､土地利用計画	農業土木概論､生産環境学演習
	水資源利用学	日本の水資源、水田潅漑、潅漑施設、農地排水、水質保全、集落排水	農業水利概論､測量･GIS 実習
	農業ﾘﾓｰﾄｾﾝｼﾝｸﾞ	リモートセンシングの基礎、農業・森林リモートセンシングの応用例	農業情報論、測量・GIS 実習
	スマート農業論	農業ＩＣＴと営農支援システム、農業のロボット化技術など	農業機械学Ⅰ､生産環境学演習
	農業ﾊﾞｲｵﾏｽ利用論	農業バイオマスの賦存量と多面的利用、エネルギー変換技術など	農業機械学Ⅱ､生産環境学演習
農業経営学（8名）	農業経営学	農業の企業形態、経営規模・組織、経営戦略、経営継承、GAP など	アグリビジネス論､農業経営分析演習
	地域農業論	地域の農業構造、地域農業政策、地域営農ｼｽﾃﾑ､集落営農の組織化など	地域農業構造分析実習、農業経営分析演習
	食品ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	マーケティングの基本戦略、食品ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞの特質、産地ブランド化等	農産物流通論､農山村調査実習
	フードシステム論	食品製造業と食品流通業の構造、食生活の変化と外食・中食産業の成長	農山村調査実習､地域農業構造分析実習
	農業経済分析論	農業の生産性・成長性、産業連関分析、食品安全の経済分析など	農山村調査実習､地域農業構造分析実習
	協同組合論	協同組合の思想と現代的役割、農協・生協・漁協等の現状と課題	震災農村復興論､農山村調査実習
	農業政策学	経営構造政策、水田農政の変遷、農地制度改革、世界の農政など	農業経済論､農業と人間
	農林資源経済論	農林業の多面的機能、社会的共通資本としての地域資源管理など	地域農業構造分析実習、農山村調査実習

注 1)「専門領域」は、学生の「履修コース」に照応しています。

2)そのほかに「農学実践型教育プログラム」等の専門科目及び全学共通教育の「基盤教育科目」の担当があります。また､設置審査の対応で若干変わる場合もあります。